

大切な文化財を守ろう！
～文化財防火デーを実施～

世界最古の木造建築物である法隆寺金堂壁画が焼失した1月26日(昭和24年)を機に、この日を「文化財防火デー」と定め、毎年一斉に全国で防火啓発活動が実施されます。

大切に受け継がれてきた文化財は、焼失すれば二度と戻すことはできません。そのため、文化財に対する防火意識を持つことはとても大切なことです。

市教育委員会と守口消防署で、市内の神社や寺院などに立入検査や消防訓練を行い、文化財を火災から守るためにのチェックを行います。

消防訓練

時1月26日(月)14:00～
場佐太天神宮(佐太中町7-16-25)
問生涯学習・スポーツ振興課
TEL06-6995-3158
消防訓練等の指導や消防相談
問守口消防署
TEL06-6993-0119



要約筆記ボランティア講座

内耳がきこえない、きこえにくい人に文字で情報を伝える文字通訳の一つである「手書き要約筆記」の基礎を学ぶ講座
時2月17日・24日・3月3日・17日(火)13:30～16:00(4回連続講座)
場中部エリアCC会議室2
定先着12人
持筆記用具・ハサミ
申オンライン・電話・メール・ファックス
問守口障害者生活支援事業所「みみ」
TEL06-6993-9640
FAX06-6993-9647
mimimori@gaea.ocn.ne.jp



メール

オンライン

「里親になりませんか」
～すべての子どもたちに家族のぬくもりを～

私たちの身边には、さまざまな事情により家族と一緒に暮らすことができない子どもたちがいます。家族の一員として温かく迎え入れ、愛情と理解をもって、子どもの心身の成長を支えてくださる「里親」を求めています。里親になるのに特別な資格は必要ありません。その家庭の環境や気持ちに合わせた制度を紹介します。

少しでも関心がある人は、気軽に一度お越しください。

里親相談会

時1月24日(土)10:00～12:00

パネル展示

時1月13日(火)～24日(土)

場中部エリアCC

里親には種類があります

△養育里親(はぐくみホーム)

一定期間、子どもを家庭で育てる

△養子縁組里親

養子縁組により子どもの養親になる

△親族里親

祖父母などが子どもを養育する

△専門里親

虐待など配慮が必要な子どもを育てる

問大阪水上陸保館 里親支援センターおひさま

TEL072-380-3455



消防出初式

守口市消防団、門真市消防団、守口市門真市消防組合が合同で消防出初式を行います。

内徒步部隊・車両部隊による分列行進、幼年消防クラブの防火の誓い、消防団・救助隊による訓練など

時1月11日(日)10:30～

場守口市淀川河川敷運動広場(鳥飼大橋上流300m付近)

小雨決行・荒天中止

※中止の際はホームページやSNSに掲載しますので、確認ください。

注一般見学者用駐車場はありません。
車での来場はご遠慮ください。

問危機管理室

TEL06-6992-1497

問守口市門真市消防組合消防本部総務課

TEL06-6906-1123

市民古文書連続講座

「新寄贈資料(田中家文書)を読む—守口市の歴史を知るために—」(全3回)

内昨年度、市に寄贈された資料である「田中家文書」を取り上げ、市の歴史をさらに知りたいとともに、まだ市内に眠る文化財の再発見につながればと思います。

時2月5日・19日、3月5日(木)

各回10:00～11:30

場中部エリアCC第1・2会議室

講橋本孝成氏(大阪大学・摂南大学非常勤講師、大阪大学適塾記念センター招へい研究員)

定当日先着40人

申当日直接

問守口市文化財研究会

TEL090-7750-8440

(副会長兼事業部長 橋本)

守口大根長さコンクールを観賞しませんか

内市が提供した種子で栽培した守口大根を持ち寄り、その特性である長さを競う「守口大根長さコンクール」を開催します。皆さんぜひ、この機会に「なにわの伝統野菜」守口大根を会場でご覧ください。司会は、もりぐち夢・未来大使「U.K./楠雄二朗」氏です。

時1月16日(金)14:00(13:00～受け付け)

場市役所1階会議室103～105

定先着50人程度



守口大根って？

長さ1m以上、長いものは2m近くになる世界一長いといわれる大根で、主に漬け物として食されています。平成19年には大阪府の「なにわの伝統野菜」に認証されました。

問地域振興課

TEL06-6992-1516



防災とボランティアの日

阪神淡路大震災では、全国から数多くのボランティアが駆け付け、さまざまな活動をされました。このことが被災地の復興に向けた大きな力となったことから、災害ボランティア活動の重要性が広く認知されました。

災害時のボランティア活動と皆さんの自主的な防災活動の認識を深め、災害への備えの強化を図ることを目的に、1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日～21日を「防災とボランティア週間」として制定されました。

近年、各種自然災害が多発しており、消防機関を含め公的機関だけでは、すべての事案に対応しきれないことが予想されます。また今後、甚大な被害が想定されている南海トラフ地震を含めた災害に備えるため、「自助」「共助」の意識を高め、被害を最小限に抑えられるよう今一度、防災について考えましょう。

問守口市門真市消防組合消防本部

警備課

TEL06-6906-1305

イベント・講習

お餅つき大会

市民協働事業の一環として、オールケア守口の施設を開放してお餅つき大会を実施します。

お餅をついて食べたり、昔遊び、ボッチャ大会もあります。寒い季節ですが、みんなで思いきり食べて遊んで、心も体もポカポカになります！もり吉も来るかも！

時1月11日(日)10:00～11:30

場オールケア守口

(大久保町5丁目39番6号)

対小学生まで

注敷地内に駐車場はありません。

問株式会社オールケア守口

TEL06-6916-0555(松本)

誰かの今をつないでいく。
はたちの献血

献血者が減少しがちな冬季に血液製剤の安定供給を確保するため、全国で「はたちの献血」キャンペーンが実施されています。

少子化により献血可能な人口が減少し続けると、血液の安定供給に支障をきたす恐れがあります。今後も患者さんに血液を安定的に届けるためには、将来の輸血医療を支える、若い世代の献血への協力が必要不可欠です。

市でも、成人の日記念式典会場にてブースを設置していますので、ぜひのぞいてみてください。

献血は身近でできる大きな社会貢献。この機会に献血に行ってみませんか？

Q.何歳からできる？

A.200ml献血は16歳から。400ml献血は男性17歳から、女性18歳からできます。

Q.どれくらい時間がかかる？

A.受け付けから献血終了まで約40分です。

Q.予約できる？

A.ラブラッド会員(日本赤十字社と献血をつなぐWeb会員サービス)に登録すると、Webやアプリから簡単に予約できます。

Q.体重制限はある？

A.200ml献血は男性45kg以上、女性40kg以上。400ml献血は男女ともに50kg以上の人にお願いしています。

Q.献血はどうのように使われるの？

A.献血された血液は輸血に使われるイメージがありますが、それは全体のわずかです。ほとんどはがんなどの病気の治療に使用されています。



市ホームページ



ラブラッド会員登録

問守口市献血推進協議会事務局
(地域福祉課内)

TEL06-6992-1570



献血キャラクター
「けんけつちゃん」

お知らせ

高齢者見守りシール
「どこシル伝言板」

どこシル伝言板は、認知症などにより行方がわからなくなってしまった高齢者の早期発見、保護を目的としたものです。

登録された高齢者が衣服などに貼った二次元コードを読み取ると、保護者へ瞬時に発見メールが届きます。二次元コードの読み取りとパソコンや携帯電話からアクセスできる伝言板を利用することで、個人情報を開示することなく、24時間検索が可能です。本人に対応する必要な情報をウェブ上で家族と共有でき、早期の帰宅につなげることができます。

また、シールを貼付するポイントはいつも持ち歩いているもの(杖や帽子など)かつ発見者の視界に入りやすい場所(本人の衣服の下衣などはできるだけ避ける)で、発見者が二次元コードを読み取る際に、本人が警戒しない箇所(本人の衣服の上衣前面は避ける)ことです。

シールの申請方法は、こちら↓



発見者から見たどこシル伝言板の流れ

問高齢介護課

TEL06-6992-1613

問守口市門真市消防組合消防本部

警備課

TEL06-6906-1305



※QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。